

京都哲學會春期公開講演會

五月十九日午後一時より京都法科大学第一教室に於て本會春期公開講演會を開き左の講演あり。

精神作業發達の経路及び一日に於ける精神作業の消長

文學士 檜崎淺太郎君
文學博士 深田康算君

美の具象性
右終て學生集會所に於て、晚餐會を開く。因に、本號に掲げた檜崎學士の『心理學と客觀的方法』は、この講演の後半に本きて更に推敲を経たるもの、深田博士の『美の具象性』も近く本誌に掲載せらるべきを以て、共にこゝには記載せず。

京都帝國大學講演會

京都帝國大學は本月一日より、同大學に於て、第九回講演會を開く。講演科目及びその講師左の如し。

- 國際公法 法科大学教授 法學博士 千賀鶴太郎
- 經濟の發達 法科大学助教授 本庄榮治郎
- 循環器生理學 内容 循環器生理學一般の事項殊に誤解し易き點に就て(實驗説明)

○淡水藻類學及浮游生物學大意 内容 淡水藻類學、形態及

構造、生長及生殖法、所在現出、諸種の標本製作並に貯藏法、分類大要浮游生物學大意、沿革、生態に關する事項、採集貯藏法並に器具類、簡易定量法等

○飛行機概説 醫科大學講師 赤塚孝三
工科大学教授 濱部源次郎

○古代印度の佛教美術と東洋に於ける其影響(幻燈使用)

○考古學研究法 文科大学教授 松本文三郎
文科大學教授 濱田耕作

○支那韻文の構造及修辭法

文學大學助教授 鈴木虎雄
理科大學教授 理學博士 松井元興

○航空理論大意

理科大學助教授 玉城嘉十郎
理科大學講師 松本敏三

右の外左の科外講演あり。

時

濱職罪に就て 文科大學助教授 千葉胤成
演義に彩れる近世埃甸國(幻燈使用) 法科大学助教授 宮本英脩

英國最古の叙事時(幻燈使用) 京都帝國大學司書官 長壽言
文科大學助教授 厨川辰夫

戰後の經濟 法科大学教授 法學博士 小川郷太郎
清初の畫家を論ず(幻燈使用)

文科大學講師 富岡謙藏

心理學讀書會

五月二十一日午後三時より心理學實驗室にて例會を開き、左の講演あり。

余の卒業論文に就て

福富 一郎君

社會學會

二月二十一日午後六時より學生集會場にて開催し米田講師を初め會員全部出席し次の講演あり。十時散會せり。

「伯林と其附近に就て」

諏訪 潜

今日の伯林が彼の地に於て發達せし所以を、人文地理學的見地より、種々の項目に分ちて細論し、終に文化史的見地より伯林と巴里との比較をなし、過去及現在に於ける兩都市の使命に論及せり。四月二十五日午後七時より學生集會場にて開會、次の講演あり。

田岡都市に就て

諏訪 潜

都市問題は今日に於ける重要切實なる社會問題なるが田岡都市は既に都市の改善と並んで新に起すべき都市に對するプランニングを爲すものなるを述べて田岡都市の本質及び田岡都市田岡郊外田岡村落の區別、都會と田舎との利害、田岡都市の工業的方面等を説き終に田岡都市協會の事、田岡野外の發達を述べたり。

新著紹介

スピノザ哲學大系

文學士 小尾 純 治譯

近時翻譯界の風潮が漸次眞面目になつて、かの孟浪杜撰な賣文的翻譯や、一時の場當りを目的とした際時的翻譯でなしに、眞に權威ある古典的、代表的著作の、權威ある翻譯が、ぼつ／＼と表れるに至つた事は、一般讀書界の爲に誠に、慶賀すべき事といはなければならぬ。

最近吾人は、恰も時を同じくして、二個の古典的著作の新譯が完成せられたといふ、喜ぶべき報道に接した。その一は、波多野博士及び宮本學士共譯のカントの「實踐理性批判」であり、今一つは茲に紹介せんとする、小尾學士のスピノザの「エチカ」の新譯である。

カントの史的地位及び本著の價値に就ては、今更ら冗辯を費す必要はないが、先には桑本教授及び天野學士に依つて、其の「哲學序説」の模範的邦譯あり、今また譯者其人を得て此の實踐哲學の新譯が完成せられ、斯くて此の偉大なる哲人の思想は、約半分程は我邦一般の讀書家の所有となつた。其の第一批判書及び第三批判書等の邦譯が完成を見るの日も、思ふに遠くはあるまいから、此等の書と相待つて、此の近代の所謂思潮の源泉は、確實に我國讀書界の所有となるであらう。

スピノザの哲學の價値に就ては、見る人によつて、可なり輕蔑があるかもしれぬ。否、今日の多數者に取つては、スピノザは單なる一個の獨斷論者、現代の思想には何等の交渉もなき過去の歴